

授業時間外学習の促進

社会科教育・矢澤知行

1. 授業の概要

本授業は，総合人間形成課程の選択必修科目にあたり，例年，人間社会デザインコースの教員4名がオムニバス形式で担当している。報告者は2015年2月に計3コマを担当した。受講登録者は，生活環境コース，情報教育コース，人間社会デザインコースの学部生を中心とする計51名であった。

本授業では，受講生の到達目標として，「人文・社会的な視点から現代情報化社会の特質について論じることができる」という点などを掲げており，これに沿って報告者は「メディア・社会・世界の未来を考える」というテーマを示して講義を行った。その際，今回の報告書の主題である「授業時間外学習の促進」を念頭に置いて，毎回授業後にミニレポートを課した。ミニレポートは，各受講生が，授業の内容をふまえて自らタイトルを設定し（「～についての具体的考察，発展的考察」，「～に対する疑問」など），その内容を400字程度で記すものである。これによって，受講生が授業終了後に復習の時間を確保するよう企図したのである。ミニレポートは授業回数分（3回）繰り返し，全授業が終了した後に一括して提出するよう指導し，レポートの記述内容に基づいて成績評定を行った。

2. アンケート結果

本報告を作成するにあたり「授業改善のためのアンケート」を実施した。アンケートの質問項目は，「①この授業に積極的に取り組んだ」，「②この授業では授業時間外の学習に取り組んだ」など7件であり，いずれも5段階評価による調査を行った。また，授業に対する感想や具体的な要望を記入するための自由記述欄も設けた。

例年，紙媒体を用いたアンケート調査を行っていたが，今年度は試みとしてMoodle上にアンケートのトピックを作成し，これにアクセスして回答するよう受講生に協力を依頼した。しかし，受講生のアクセスは思いのほか

少なく，有効回答率は18%（9件/51名）しか得られなかった。

アンケート結果は次の通りである。まず，今回のテーマに関わる質問項目「②授業時間外の学習に取り組んだ」については，「5. そう思う」が33%，「4. ややそう思う」が66%で，それ以外の回答はなかった。このほか，「①この授業に積極的に取り組んだ」についても，「5. そう思う」が44%，「4. ややそう思う」が44%，「3. どちらともいえない」が11%で，おおむね良好な結果が得られた。しかし，「⑥全体としての満足度」や「⑦他の学生や後輩に勧めたい」については，「2. あまりそう思わない」との回答がいずれも1件見られた。

なお，自由記述欄には，「わかりやすい解説であった」「情報に対しての向き合い方を考えるようになった」「だいぶ難しいところもあったが，ためになる授業だと思う。メディアとの接し方と，自分がフラットな立場でメディアを活用できているか考えさせられた」等の回答が寄せられた。

反省点・改善点としては，ミニレポートの内容をきちんと受講生にフィードバックすべきだったということが挙げられる。つまり，ミニレポートの提出を最終的に一括で行うのではなく，授業終了後にその都度行うようにして，各々のレポートに対して教員コメントを付して返却すれば，授業の双方向性がより強められ，授業満足度も総じて高まったのではないかと考えられる。

3. 総括

以上，本報告では，オムニバス科目「現代社会とメディア」の報告者担当分の授業について，主として授業時間外学習の促進をテーマに検討し，それに対応する評価結果の分析を行った。その結果，授業時間外学習と双方向的な授業との連動など，さらなる課題が浮かび上がってきた。今後，一層の工夫を試みていきたい。